

- 「歩行空間ネットワークデータ整備仕様」では、歩行空間における幅員や縦断勾配、段差等のバリア情報をデータ化する際の仕様を定めています。
- これらをオープンデータ化することで、民間事業者などによる、多様な利用者のニーズに応じたサービスの開発・提供（段差を回避した経路検索やナビゲーションなど）の普及・促進を目指しています。

歩行空間ネットワークデータ

「歩行空間ネットワークデータ」とは、歩行空間の形状に合わせてノード（点）とリンク（線）を配置し、属性としてリンク延長や経路の構造・種別のほか、段差や幅員などの情報を持たせてデータ化したもの。

